社会資本総合整備計画事後評価（案）のパブリックコメントにつきましては、社会資本総合整備計画の2ページ目の赤枠で囲われた箇所について、実施するものであります。

社会資本総合整備計画

事後評価

平成30年3月

愛知県日進市

社会資本総合整備計画（市街地整備）　事後評価書

平成30年3月14日

計画の名称	いつまでも暮らしやすいみどりの住環境都市		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	日進市

計画の目標

本市は、地理的条件等から現在も新市街地の整備が進んでいるが、今なお市内に居宅を求める需要は高く、昭和45年の用途地域を指定した時から新市街地として整備を計画していた地下鉄鶴舞線赤池駅に隣接する赤池箕ノ手地区の基盤整備が求められている。鉄道駅に近い利便性からも、地区内の土地利用は集合住宅を中心とした居宅利用が主になることからも、子育て世代や高齢者を中心とした社会サービスのニーズが増すものと予想される。このことから、計画的に整備された市街地と交通結節点、さらに市役所等の公共施設を連結することで、都市機能の向上を図り、「高齢者･障害者･子育て世代が暮らしやすいまち」を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

日進市全体の市街地整備を行い、次世代も住み続けてもらえる、若い世代の居住を図る。
赤池周辺整備により、駅の利便性向上を図り、1日あたりの乗車人員数を8420人（H22）から10000人へ増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H23当初）	中間目標値（H25末）	最終目標値（H27末）	備考
（平成２３年度当初の児童数からの増加人数）/（平成２７年度の児童数増加目標２５０人） 児童数：０～５才児の就学前児童	0%	50%	100%	
鉄道駅乗車人員数（人／日）＝地下鉄赤池駅の1日あたりの乗車人員数	8420人	9530人	10000人	
街頭犯罪発生件数(1,000人あたり) 街頭犯罪件数/（該当年度人口/1,000人）	11.6	11.2	11.2	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	820百万円	A	556百万円	B	127百万円	C	137百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	16.7%

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
日進市社会資本整備総合交付金評価委員会：平成30年3月14日（現地視察・第1回開催）。	平成30年3月
外部評価により実施した事後評価（案）に対し、市民の意見を反映させるため、パブリックコメントによる意見募集を行う予定。	公表の方法 市のホームページにて公表。

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
1-A-1	都再区画	一般	日進市	間接	日進赤池箕ノ手土地区画整理組合		日進赤池箕ノ手土地区画整理事業	都市再生区画整理　A=40.6ha	日進市						556	
													合計		556	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
1-B-1	道路	一般	日進市	直接	日進市		小田赤池線改良事業その１	（都）小田赤池線改良	日進市						11	
1-B-2	道路	一般	日進市	直接	日進市		小田赤池線改良事業その２	（都）小田赤池線改良	日進市						12	
1-B-3	道路	一般	日進市	直接	日進市		南山の手線改良事業	（都）南山の手線改良	日進市						24	
1-B-4	道路	一般	日進市	直接	日進市		赤池駅前線改良事業	（都）赤池駅前線改良	日進市						8	
1-B-5	道路	一般	日進市	直接	日進市		赤池３７号線改良事業	赤池３７号線改良　100m	日進市						6	
1-B-6	道路	一般	日進市	直接	日進市		赤池駅周辺整備事業	赤池駅前線等改良 345m	日進市						66	
													合計		127	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-B-1	1-A-1と一体となって道路を整備することにより、安全で円滑な交通を促す。	
1-B-2	1-A-1と一体となって道路を整備することにより、安全で円滑な交通を促す。	
1-B-3	1-A-1と一体となって道路を整備することにより、安全で円滑な交通を促す。	
1-B-4	1-A-1と一体となって道路を整備することにより、安全で円滑な交通を促す。	
1-B-5	1-A-1と一体となって道路を整備することにより、安全で円滑な交通を促す。	
1-B-6	1-A-1と一体となって駅周辺道路を整備することにより、安全で円滑な交通を促す。	

C　効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	計画調査	一般	日進市	直接	日進市		市役所周辺整備事業	整備計画策定	日進市						3	
1-C-2	施設整備	一般	日進市	直接	日進市		新設保育園整備事業	建築面積　700㎡	日進市						60	
1-C-3	施設整備	一般	日進市	直接	日進市		障害者福祉施設拠点整備事業	建築面積　1,000㎡	日進市						57	
1-C-4	施設整備	一般	日進市	直接	日進市		防犯灯設置事業	市全域	日進市						17	
												合計			137	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	市役所周辺に公共施設機能を集約することで行政手続きの効率化を図り、人口増加による行政サービスの多様化に対応する。	
1-C-2	今後増加が見込まれる児童数に対し、保育施設を整備し定員増員することで市全体の保育需要に余裕ができ、赤池箕ノ手地区への居住の意欲を高める。	
1-C-3	土地区画整理事業と一体的に、不足している地域の障害者福祉施設を整備し、世代・障害を問わず暮らしやすさを高める。	
1-C-4	土地区画整理地区と一体となって市内の防犯灯設置を進めることにより、効果的な生活環境の向上を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

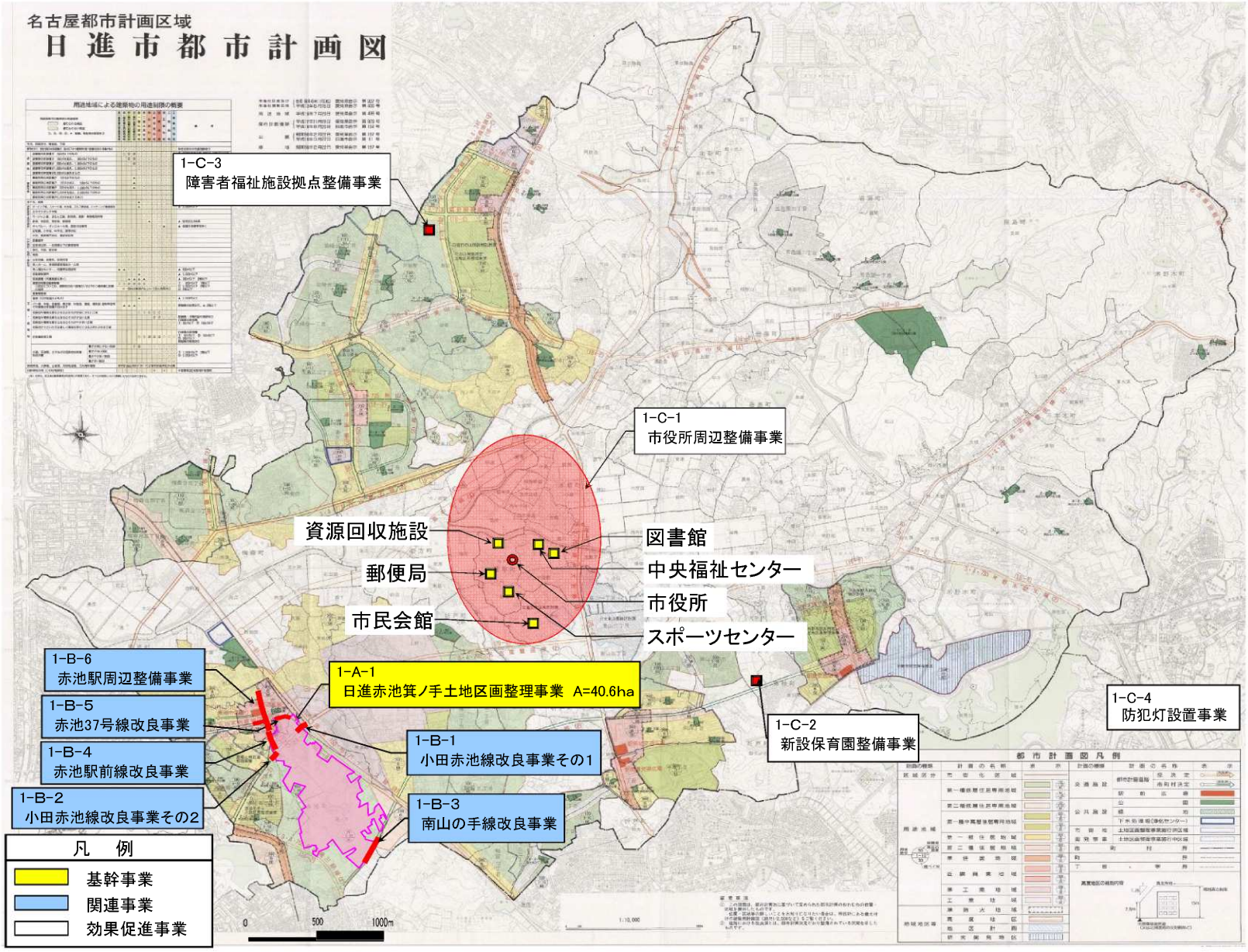
（案）

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	・日進赤池箕ノ手土地区画整理事業、赤池駅周辺道路の整備、福祉拠点の乏しい尾張東部地域（瀬戸市・尾張旭市・豊明市・日進市・長久手市・東郷町）を圏域とする障害者福祉施設の整備、新設保育園の整備を行うことにより、世代・障害を問わず誰でも安心して生活することができる環境を整備することができた。 ・土地区画整理事業等の基盤整備を行い、市内に防犯灯を設置することに合わせ、警察や地域住民等が犯罪抑止活動等を行ったことから、街頭犯罪が減少し良好な生活環境を整備することができた。				
Ⅱ定量的指標の達成状況	指標1（児童数：０～５才児の就学前児童：（平成２３年度当初の児童数からの増加人数）/（平成２７年度の児童数増加目標２５０人）） 指標2（鉄道駅乗車人員数（人／日）＝地下鉄赤池駅の1日あたりの乗車人員数） 指標3（街頭犯罪発生件数(1,000人あたり）：街頭犯罪件数/（該当年度人口/1,000人）） 目標値と実績値に差が出た要因	最終目標値	100% 10,000人 11.2	目標値と実績値に差が出た要因	・本市は、名古屋市近郊に位置していることから地理的条件に恵まれている中で、赤池駅周辺地域において都市基盤整備等を行うことに合わせ市内に保育園、障害者福祉施設を新設するなど子育て世代に対する施策を展開したことから、最終目標値と比較し児童数が増加したと考えられる。なお、遅れている日進赤池箕ノ手土地区画整理事業の進捗が図られれば更なる増加も見込まれる。 ・赤池駅周辺地域において、日進赤池箕ノ手土地区画整理事業等により都市基盤整備を行っているが、当初の見込み以上に資材単価や労務単価が高騰したことと物件移転補償に時間を要したことから、土地区画整理事業等の進捗が遅れ、最終目標値と比較し赤池駅乗車人員数の増加が伸び悩んだと考えられる。しかし、土地区画整理事業の進捗が図られれば人口増に伴う鉄道駅乗車人員数の増加が見込まれる。 ・日進赤池箕ノ手土地区画整理事業や赤池駅周辺道路の整備に合わせ、日進市全域において防犯灯を設置したことや警察や地域住民等による犯罪抑止活動等により、安全安心な住環境が整備され最終目標値以上に街頭犯罪発生件数が減少したと考えられる。
		最終実績値	173% 9,704人 8.7		
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）					

３．特記事項（今後の方針等）

・日進赤池箕ノ手土地区画整理事業及び赤池駅周辺道路の整備を引き続き行い、赤池駅周辺地域が住みやすく活力と魅力溢れるまちとなるよう事業を進めていく。本計画の事業である日進赤池箕ノ手土地区画整理事業等の整備にあわせ、赤池箕ノ手地区緑化計画に基づくみどりのまちづくりも進めたので、今後においては、関連部局との連携により市民等の活力を活かしたソフト施策を実施し、「いつまでも暮らしやすいみどりの住環境都市」の実現を目指していく。

（参考図面）市街地整備

計画の名称	1　いつまでも暮らしやすい住環境都市		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	日進市